

富山大学 地域連携推進機構

学校教育法第83条第2項

学術 + 教育研究 + 成果を広く社会に提供し、社会の発展に寄与

大学に求められるミッション変化 社会貢献→活性化

H10 大学審議会答申 21世紀の大学像と今後の改革方策

専門的職業能力…, 地域社会・産業界との連携・交流の推進…

H13 遠山プラン 大胆な再編・統合, 民間経営手法, 第三者評価,

トップ30=重点予算・世界最高水準の研究, 30以外=人口減少等を踏まえ役割変化

H17 中央教育審議会答申 地域配置, 大学の機能分化

地域活性化の拠点, 世界的研究・教育拠点, 高度専門職業人養成, 幅広い職業人養成, 社会貢献機能(地域貢献, 産学官連携, 国際交流) 等

H20 教育再生会議答申 社会総掛かりで教育再生

世界をリード, 社会・産業界・地方公共団体と連携, 地域再生へ貢献

H23 国立大学の機能強化 国立大学協会

ナショナルセンター リージョナルセンター(地域社会の指導的人材・高度職業人の育成) 地域振興の中核拠点

H24 大学改革実行プラン 社会のエンジンとなる大学づくり

地域再生の核となる大学づくり Center of Community構想 cf Center of Innovation

地域社会・産業・行政との組織的な連携強化, 地域の課題解決

地域のイノベーション創出人材育成, 地域の雇用創造・産業振興

“地域とともに生きる大学”がミッションに付加

→ 地域再生の核となる大学とは如何にが問われている!

富山大学 地域連携推進機構

地域連携推進機構の **ミッション**

地域連携に関する **シンクタンク** 機能+ **DO Tank**機能

急激な**人口減少等**による社会の変化に対応するため、積極的に地域との連携を進め、**地域課題解決への先導的役割**等を果たす

- ① 自治体や企業と協働した**地方創生**に直接**コミット**=地域イノベーション創出
- ② ①を活かし、知（地）の拠点/**COC+**事業を展開し、**学生の地域定着力を強化** など

本事業の特長

地域課題を共有して課題**解決**に資する「**魚津三太郎塾**」創設を契機に、その**成果**を**市町村の枠を超えて地域移転**した「**たかおか共創ビジネス研究所**」の創設等、様々な地域との事業に全学的に関わり、**地域活性化の中核拠点**となっている。

第2期中期目標達成状況 評価結果 学位授与機構

3-1-1-2	自治体等と連携し、地域の発展のための施策の企画・立案・実施を推進する。	非常に優れている	特色ある点
---------	-------------------------------------	-----------------	--------------

他地域・他大学にないオリジナルな地域産業支援プログラム

- **数値目標KPI**として修了生50%が第2創業着手を設定し、
- 国土形成計画、**地方創生**が描く新たな地域づくりの世界を**先駆け**、全国的に**注目**され始めている。
- ミッション①→②**連動**=地域の担い手育成の**新スパイラル**効果

富山大学が自治体と共催し、地域の若手企業経営者等が地域資源を活用しながら地域課題をビジネスでの解決を考え、広義の第2創業として国土形成計画に提唱されたCSV, コミュニティビジネスの稼働を支援する、



▲開講式は首長・学長，地域金融機関，関係機関などが参加



▲地域活性化や地域課題のディスカッション時間を十分に確保した講義 PBL



▲修了式（ポスターセッション等）
本業を生かした地域ビジネスプラン

五福キャンパス→魚津→高岡→県外・田辺

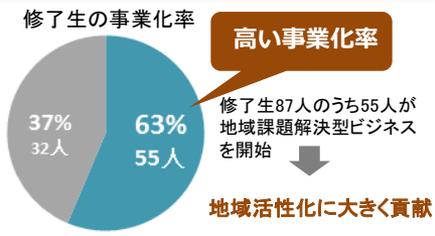
単に修了書授与するだけでない！ 地方創生が実際に動き出す



▲平成28年11月3日（木）
紀伊民報

みかん農家集団が地域商社
小さな拠点への挑戦

魚津三太郎塾	たかおか共創ビジネス研究所	たなべ未来創造塾
48人 (H23~ 5期)	27人 (H25~ 3期)	12人 (H28~ 1期)
事業化 28人 58.3%	事業化 18人 66.6%	事業化 9人 75.0%



地域企業、自らが生き残るために何をすべきかを考え、新たな価値創造することで、地域の稼ぐ力を高め、プロジェクト稼働率60% 55プロジェクトを実現。結果として、地域内資金を循環させ、地域課題解決に向けた地域発イノベーションを創出する起業増加町を実現する、

地方創生のエンジン = 新たな社会インフラ として 富山大学 が コミット

高度差4000地域再生塾 五福キャンパス/富山

平成20年度に本学で**試行実験**→平成21年度**(本格稼働)**

12企業 **企業人コース, 行政人コース**

2市

水循環 高低差3500が育む**地域資源を守り・育み×活用**
 ... **里山・山間部の課題解決**

3000m級の山から1000mの深海まで高低差4000mが形成する地域資源の**恩恵**を1次,2次,3次の**各産業が享受**し地域経済を活性化してきたが、**人口減少**による**里山経済の危機**、空き家増加、コミュニティ崩壊、日常生活サービスの提供の阻害など、**地域経済の停滞**、**地域活力が低下**が大きな課題である

高低差3,500mの**まちなか**からこそできる事。

森の木1本≧ぶり1,000本をどう守り、育み、活かす!

魚津三太郎塾 富山県魚津市 H23年度～

第1期～第5期(平成23年度～平成28年度) **48企業+6企業**
 修了者数48人, 事業化人数28人, 事業化率58.3%

大学の知を活かし、**地域資源=水循環を守り・育み×活用**
異業種による地域資源活用による地域イノベーション=地方創生へ

50名前後の存在が魚津を**新たな方向へ動かす**。

◎提案事業の実行率(第1期～5期生 28/48名 = 58%)
 平成29年9月22日現在



人口減少が引き起こす 都市部 地方都市が抱える地域課題解決

居住人口の減少や**空き家の増加**、これらに伴う**コミュニティの機能低下**に加え、商業地区が顧客・住民ニーズに十分対応できない、大規模集客施設の郊外立地などにより中心市街地が果たしてきた交流拠点としての役割の低下などにより**空洞化**が進み、**子育てサービス**や**地域包括ケア**など**日常生活サービス**の見直しによる、**地域活力強化**が大きな課題である



たかおか共創ビジネス研究所 富山県高岡市 H25～

第1期～第3期(平成25年度～平成28年度)
 修了者数27人, 事業化人数18人, 事業化率66.6%



◎1期～3期 27名の塾生輩出 + 第4期11名 38名へ

産学官金の異業種集まり, ビジネスで地域課題解決による地域イノベーションによる地方創生へ
 ↓
各所が着目しはじめ

◎提案事業の実行率(第1期～3期生 18/27名 = 67%)
 平成29年9月22日現在



地方都市が抱える典型的な2つの地域課題 = 魚津×高岡ハイブリッド型

田辺市は、**世界遺産「熊野古道」**や**世界農業遺産**をはじめとする多くの**地域資源に恵まれている**一方で、平成17年市町村合併により県土1/4の広大な面積を有し、**少子高齢化**に伴い、**空き家や空き店舗が増加**するとともに、**地域の担い手が不足**するなどの地域課題を抱えています。すなわち、沿岸部の旧田辺市は**高岡市が抱える地方中心都市の典型的な地域課題**を有するとともに、**里山及び山間部は魚津市が抱える地域資源による地域活性化への課題の双方を併せもつことが特徴**である。



たなべ未来創造塾 和歌山県田辺市

11企業+12企業
 第1期(平成28年度)
 修了者数12人, 事業化人数9人, **事業化率75.0%**



- 地域活性への**直接コミット**に向けたKPI設定/**プロジェクト稼働率**→学生意識変革≠**地域貢献**
- 自治体, 金融機関**スキルアップ**=ともに学び, **自ら仕組みづくり**ゼミ開催, **先駆事例調査**の実施・・・
- 事業改善に向け**首長・学長**など上層部との**PDCA会議**, 成果, 評価及び改善情報の共有化
カリキュラム改善 ケーススタディ重視, 身近な成功事例の紹介
- **受講生**ときめ細か**コミュニケーション** 個別指導メール・電話・自主ゼミ, **企業訪問**
- 早い段階から**メディア連携**=塾生参加テレビ1社, 地方新聞社2社, 活動状況の本質理解→**情報発信**
- 事業実施前に, 地域発イノベーションへの地域企業の取組み意識を**調査研究**=意識格差5段階
*集積企業の**意識構造**の解明に基づく**戦略・戦術**ロジック cf **従来産業政策**産業クラスターなどの**知見**活用 *ターゲットを明確化 レベル3**実行したいが何を**してよいか**わからない**, レベル4何をすればよいか**わかっているができない**
- **金融機関**等と**公募前**に意欲ある若手企業人30代を50人**ピックアップ** 業種配分/事業連携の可能性を考慮
- 地元金融機関の長との連携や, 日本政策金融公庫との連携など, 全国の中でも**早い段階**H20当初より, 地域イノベーション創出に必要な**産学官金連携**を本事業を進めた。



▲自治体職員の民間等共同研究員派遣などによるゼミ形式でのスキルアップ



▲官学金連携による先駆事例調査



▲首長・学長など上層部によるPDCA会議



▲**企業訪問**など塾生・研究生とのきめ細かなディスカッション

全国でも早い段階から産学官金が一体支援

当初H20より、全国でも早い段階から産学官金連携を進め、

- ・地元金融機関の長との連携→組織連携（研究員派遣・常駐派遣）
- ・財務事務所との連携・深化→県外事務所との連携
- ・日本政策金融公庫との連携→地域外連携支援など、本事業の地域内外移転を金融機関が積極的に支援。



TOP会談 → 頭取・学長対談

▲地元金融機関の長との連携→研究員派遣，常駐職員派遣



多摩信金

官学金で先駆的金融機関の情報収集



伊予銀ヒア



地元金融機関による塾支援

▲政策金融公庫の積極協力
(意欲ある若手経営者紹介，ヒアリング
同行，融資実行)



全国会議で報告
→富山各支店が支援活性化



▲富山財務事務所との連携強化を起点に

和歌山財務事務所との連携強化 財務事務所連携による



全国会議で和歌山・富山の各事務所長が報告

東京バントにて本省に情報が届いています



財務局長会議での北陸財務局長報告

資金支援だけでなく本業支援が銀行本務
困ったらいつでも支店長に相談してくれ！

県内→県外→東京・・・
ノウハウ・情報が移出入しはじめ

平成20~21	富山大学にて試行実験/プログラム開発		
平成23~	魚津市へノウハウ移転	H21~22職員研修→H23協定 民間等共同研究員	隣縣市町村からの開催ニーズ
平成26~	高岡市へノウハウ移転	H24協議スタート→H25協定締結	隣接市町村からの開催ニーズ
平成28~	魚津/高岡→田辺へノウハウ移転→富山へ再移転 民間等共同研究員		首長が他部署PJへの応用指示



▲魚津市との包括協定



▲高岡市との包括連携協定



▲田辺市との覚書締結式

大学→自治体, 大学・自治体→自治体→**広域市町村**, 県外へ**ノウハウ移転**, さらには県外から新たなノウハウが**再移転**し, 知的対流が実現。即ち, 他大学, 他地域へ**波及が見込める**プログラム

自治体・各地域での知的対流が生じ

国土交通省が興味をもちはじめ・・・



国土交通省国土政策局

広域地方政策課 ●●H27~28 3度の富山訪問

広域制度企画室

新たな国土形成計画(全国計画)

県内外へノウハウ移転→再移転 知的

対流拠点としての富大の役割

新たな公/CSV/地域発イノベーション/起業増加町/稼ぐ力

新たな国土形成計画(全国計画)

国土の基本構想実現のための 具体的方向性

具体的方向性③ 国土づくりを支える参画と連携

地域を支える担い手の育成

「耕すシェフ」研修制度(島根県邑南町)



CSV 産学官金 ソーシャルビジネス
地域イノベーション 起業増加町 ≠ 企業城下町
小さな拠点・・・

- 地域外に居住する家族を含む「ヒトの対流」を活用した共助社会づくり
- コミュニティの再生、新たなコミュニティづくり



地域の約8割の世帯がNPOの会員となり、旧町民
会館を拠点として多彩な生活サービスを展開

魚津三太郎塾 × 料理人 *1期生/海風亭美浪呂哉/魚津物語“ごっつお井”プロジェクト*

JR魚津駅前前で創業100年を越える老舗料理店として、県東部交通結節点の立地を生かし、魚津ならではの料理を提供してきた。しかし、近年は業績悪化し**赤字経営**となり、その危機感の中、魚津三太郎塾に参加し、**地域にこだわり素材を生かす重要性**を学び、「魚津の水循環」を表現した井を開発。試行錯誤を重ね、地域にこだわる料理人として表現することを経験した結果、業績の**黒字化に成功**した。

魚津三太郎塾 × ○○●・塾生の連携 *3期生/島澤達也/おつかいもん魚津プロジェクト→コワーキングスペース運営プロジェクト*

塾修了生のビジネスを点から面へ広げる場としての任意団体「魚津三太郎倶楽部」を立ち上げ、①国土交通省地域づくり活動支援体制整備事業補助金を活用し、魚津の水循環を伝える商品**カタログギフト**「おつかいもん魚津」を制作・販売するとともに、②さらに創業や創業支援への交流スペース(**コワーキングスペース**)の整備、運営を展開することで、魚津の**CSV事業展開を下支え**している。

魚津三太郎塾 × 印刷屋 *1期生/森内将史/「いかわの守り紙」プロジェクト*

塾生の印刷会社は**従業25名の小企業**にもかかわらず、森林組合と従業員千人を超える大企業である製紙会社との間で3社協定を締結し、地域の間伐材が計画的に搬出される**クレジット方式のエコシステム**を作り、「いかわの守り紙」として販売することで、地域資源である高低差4000mの環境を守り・育み×活用による**CSVを実現**した。コスト競争に苦しみ印刷業界に**付加価値で勝負**する新たな展開を示した。

たかおか共創ビジネス研究所 × 不動産屋 *3期生/清水悟/複合商業施設「山町ヴァレー」プロジェクト*

当研究所第3期生の塩崎商衡(株)塩崎吉康氏や市内若手事業者とともに、事業運営を検討していた**山町筋の古い町家と蔵を改修した複合商業施設**「山町ヴァレー」のコンセプト、運用計画などを当研究所にてまとめあげた。当研究所の参加により、これだけ長い時間をかけ、**多種多様な経営者**とともに、CSVの考え方を学べたことが大きく、今後の会社運営に利用していく予定である。

たかおか共創ビジネス研究所 × 仏具用具店 *1期生/大越剛夫/地域に支えられ賑わう寺小屋づくりプロジェクト*

仏事のトータルサポートする企業を目指し、**関係業者との連携**、**地域と寺院との架け橋**の役割を模索する中で当研究所に参加。地域と企業の**共通価値創造**するCSV概念を学んだことで、地域の子供たちと地域の人々がふれあい、お寺が地域で学ぶ場、集う場を設ける取組を実施。他の**寺院からの反響**が大きく、**地域課題解決と仏具業界の繁栄**を実現する可能性を見出した。

たかおか共創ビジネス研究所 × 福祉用具店 *2期生/塚田高史/買い物サービス支援を起点とした商店街再生*

高齢化が進み、商店街が少ない地区での生活サービスの持続を目指し、当研究所で提案した地域の**買い物サービス支援センター**「ストアまるしん」を新たに事業化し、ショップと交流コミュニティを提供している。この事業により**会社の知名度が上がり**、さらに本業の福祉用具店の**売り上げが向上**し、加えて**協同事業者の繋がりが増加**し、福祉拠点としての認知が広まり、地元住民向け発信拠点としての役割を担っている。

たなべ未来創造塾 × 工務店・建材屋 *1期生/中村文雄・横田圭亮/田辺に賑わいをもたらすエンゲージメントハウス*

塾生の工務店と建材屋が、ガス店、土地家屋調査士、ゲストハウス経営者とともに**LLPタモリ舎**を結成。築80年古民家を**リノベーション**し、平成29年5月にゲストハウスを開業。資金は、塾の連携団体である**日本政策金融公庫**から無担保・無保証で700万円の**融資**や、**クラウドファンディング**で約350万円調達。さらに、**塾生(農家やシェフ)**と**コラボ**し、新メニュー/**ジビエバーガー**を開発した。

たなべ未来創造塾 × みかん農家 *1期生/岡本和宜/農人と森の番人プロジェクトー僕らの畑は僕らで守るー*

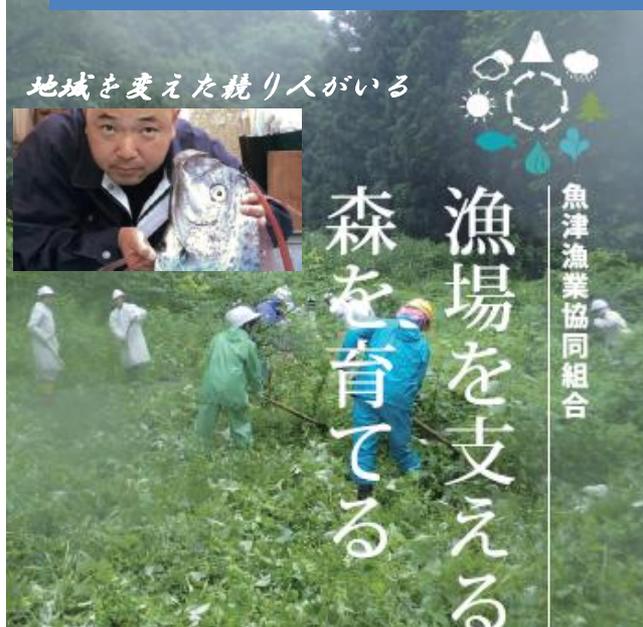
鳥獣害が増加する中、**自分たちのみかん畑は自分たちで守ろう**と、地域の若手農家でチームひなたを結成し、狩猟を開始し、**解体業者誘致**、**シェフとのコラボ**による、獲る～捌く～食べるまで一貫して取り組み、交流・定住人口の増加につなげるプロジェクトを開始。現在は、柑橘を活用し、神島高校コラボ商品の開発、耕作放棄地を活用し園児との**トウモロコシ**を栽培し、**地域商社**の設立を目指している。

たなべ未来創造塾 × デザイナー・家具屋 *1期生/竹林陽子/ユニークな紀州材・あかね材をデザインして山を元気にする*

虫害被害材「あかね材」を活用し、**世界遺産**「熊野古道」のランドスケープである**山を元気に**するプロジェクトを立案。この立案を契機に、塾生である(有)榎本家具店や山収木材、岩見木工、(株)中川とプロジェクトチームを結成し、**Re-Kumano Project** - 熊野ファンと共に熊野の山を守る-の**プロジェクト展開へと拡大**。当該プロジェクトはブランド化補助金(県単)に採択され稼働中。



地域を支える企業づくり 地域企業の第二創業支援＝地域の持続的な発展



支援先のイノベーション推進

- ①新規事業創出60%, 55件
- ②地域内資金循環
- ③補助金獲得(国・県・自治体)

営業力向上効果

- ①新商品開発
- ②企業連携サブライフェン強化=発注拡大
- ③メディア掲載による広告効果

新商品開発→売上増・事業承継力アップ, 企業連携でのCSV展開による発注拡大→営業力強化

(例)にいかわ守り紙, ○○井, 寺小屋, 買い物支援 (例)新規雇用, 売り上げ増 (例)金融機関支援の増加

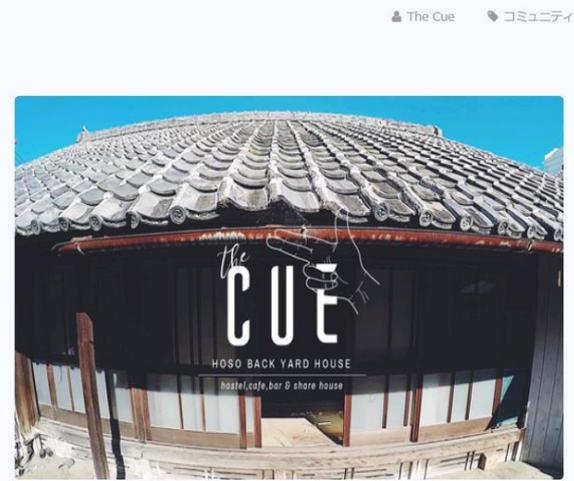
産学官金言連携, メディアも塾生として参加! 活動状況の本質理解→情報発信

⇨新聞等7社(89回), テレビ6社(16回)によるメディア掲載→テレビ・新聞等による特集番号・記事へ



・日本政策金融公庫からの融資700万円 +クラウドファンディング300万円

熊野詣の宿場町、田辺にある古民家再生『the CUE』にカフェバーをつくる!



集まった支援総額

3,029,000円

121%

目標金額は2,500,000円

パトロン数

183人

募集中まで残り

終了

「熊野古道・四尊神社」の世界遺産の街、和歌山県田辺市にある築80年の古民家を再生。ゲストハウス・シェアハウス併設の複合施設『the CUE』に、ゲストと地域住民が交流できる「カフェバー」をつくりたい。街の「リビングルーム」として、人々の人生に「きっかけ」となる会話やアイデアが生まれる空間に!

シェア いいね! ツイート 埋め込み

おめでとうございます

このプロジェクトは、2017/03/16に募集を開始し、183人の支援により3,029,000円の資金を集め、2017/04/29 23:59に募集を終了しました

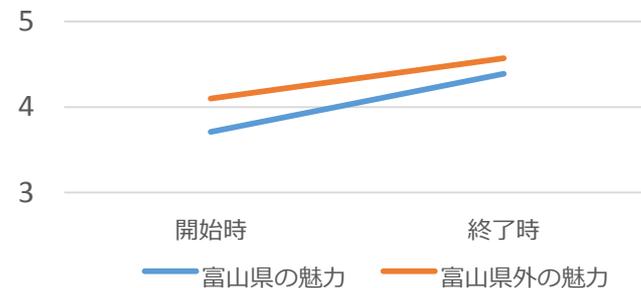
H28年後期結果

●開始後と終了後の平均の差

就職先の魅力	開始時		終了時		平均の差	t値
	平均	標準偏差	平均	標準偏差		
富山県	3.71	1.485	4.10	1.385	0.39	-5.012 ***
富山県以外	4.39	1.219	4.57	1.118	0.18	-2.440 *

*p<.05; **p<.01; ***p<.001

※「1.魅力ない～6.魅力ある」の6段階で調査



H29年前期結果

●開始後と終了後の平均の差

*p<.05; **p<.01; ***p<.001

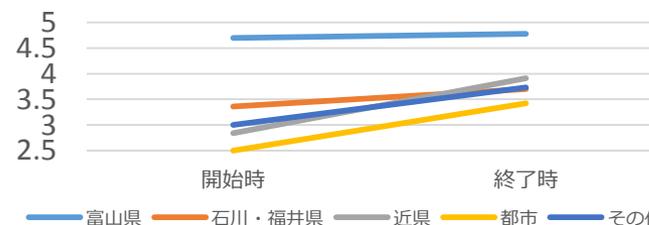
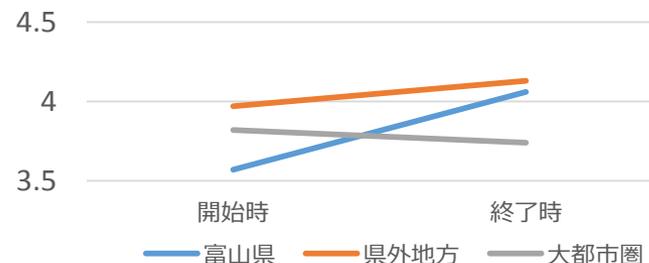
就職先の魅力	開始時		終了時		平均の差	t値
	平均	SD	平均	SD		
富山県	3.57	1.481	4.06	1.274	0.39	-4.538 ***
県外地方	3.97	1.322	4.13	1.221	0.16	-1.537
大都市圏	3.82	1.345	3.74	1.332	-0.08	.843

●富山県内の就職先としての魅力（出身地域別）

*p<.05; **p<.01; ***p<.001

出身県	開始時		終了時		平均の差	t値
	平均	SD	平均	SD		
富山県	4.70	1.152	4.78	.987	0.08	-.467
石川・福井県	3.36	1.405	3.70	1.284	0.34	-2.673 *
近県	2.84	1.298	3.91	1.376	1.07	-4.062 ***
都市	2.50	.905	3.42	.793	0.92	-2.421 *
その他	3.00	1.265	3.73	1.272	0.73	-2.667 *

※「1.魅力ない～6.魅力ある」の6段階で調査



学生の意識は変化している

地域発イノベーションを創出する時代に即したプログラム

支援プログラムの独自性

- ①自治体協催・CSV創出／60%稼働 動く地方創生
 - ②起業増加町，地域内資金循環，新たな社会インフラ
- 修了証を授与するだけではない，地方創生が動き出す，コミットする！

地域資源の活用

- ①里山，都市資源活用，課題克服
- ②地方創生を牽引地域発イノベーション，稼ぐ力，大学の知を生かして国土形成，地方創生を牽引→新たな動きを誘因！！

事業効果向上への工夫

- ①事前調査→ロジック，塾生候補選抜
- ②職員スキルアップ→自ら仕組み
- ③PDCA
- ④受講生コミュニケ

産学官金にわたる連携

- ①地元金融機関連携(トップ→人材派遣)
 - ②全国会議→連携強化
 - ③財務省連携
- 本業支援体制の確立

他地域への応用性

- ①県内外へのノウハウ移転・再移転
 - ②知的対流拠点化→国が関心を寄せ・・・
- 地方都市を中心とした地域発イノベ

地域産業の振興・活性化の成果

支援先のイノベーション推進

- ①新規事業創出60%，55件
- ②地域内資金循環
- ③補助金獲得(国・県・自治体)

営業力向上効果

- ①新商品開発
- ②企業連携サプライチェーン強化=発注拡大
- ③メディア掲載による広告効果

地域経済への波及効果

- ①稼ぐ力アップ／地域力強化
- ②学生の地域定着支援

持続的な地域の担い手育成への新スパイラル効果

KPI設定, 国が目指す政策地方創生→国土形成に合致し, 新たな地域づくりを先駆ける!

地域発イノベーション創出 型人材育成事業

①CSV創出→起業増加町の実現 ②輩出したローカルイノベーターが教育還元

地域活性化の中核拠点を實現 ≡ CSV創出塾

第2期中期目標達成状況 評価 → **非常に優れ 特色ある取組**
イノベーションネットアワード2018 : **優秀賞**

稼ぐ力アップ・ローカルイノベーションの地域力強化 → 学生の地域定着意欲向上に連動
新たなスパイラル効果を顕在化!

**若者の地元定着による
地域活性化に寄与**

評価は励み Motivatio

今後も地方創生に直接コミット